

TAKAMATSU

ファミサポ通信

第23号

平成29年11月発行

# ありがとう！がつなぐ 地域での子育てサポート

子育てをしていて『ちょっと手助けがあれば助かるのに・・・』  
と思うときはありませんか？

たかまつファミリー・サポート・センターは「子育ての援助  
をしたい人」と「子育ての援助をしてほしい人」を結ぶ会員  
組織として、皆さまの笑顔をつなぎ、子育てをサポートして  
います。



## たかまつファミサポの援助活動の様子



1歳の頃は、「いっぼん、いっぼん」とせがんできた『いっぼんばしこちょこちょ』。今も大好き！いやがるけど、「またやって」と寝転がります。(笑)

園にお迎えに行くと、抱っこをせがむ時も。「お腹が大きいお母さんが出来ない分、甘えてくれたらいいな。」スキンシップもたっぷり。



栄養たっぷりの夕ごはん。もりもり食べるおりこう拓ちゃん。

出会って2年のおつきあい。ずっと成長を見守っています。

部活で遅くに帰ってきて、玄関に飛んで迎えにきてくれる拓ちゃんに、ねえねも癒されてます。



「木村さんとねえねの分のごはんを作ったよ！みんなで一緒にたべようね！」その前に園で給食前に歌うお歌を身振り手振りで歌ってくれます。



いつもありがとう！  
たくみより



援助を依頼している人  
おねがい会員 池田 紗和子さん  
拓末ちゃん(3歳)

息子が1歳の頃から、仕事が遅くなるときに保育園の迎えや夕食の援助をしていただいています。現在第2子を妊娠中で、初期から入院や自宅安静が続き、息子の世話が難しくなり困っていたところ、快く引き受けてくださり週3日の援助をしていただいています。援助中の様子を聞いたり報告書を見るのが楽しみで、子育ての参考になったり、可愛がってくださっている様子が伝わり、本当に感謝しています。息子からも「おままごとしたヨ」、「夕ごはん美味しかったヨ」と笑顔で報告してくれます。

たかまつファミサポの皆様、素敵な機会を設けてくださりありがとうございます。ファミサポ事業の輪がさらに広がっていったらと思います。今は頼ってばかりですが、いつか何かの形で恩返してきたらと思っています。



援助をしている人  
まかせて会員 木村 由季さん

子どもが好きで、自分の子育て中は近くに頼れる人がいなくて困った経験もあり、子どもの手が離れた時期から、ファミサポの活動を始めました。気持ちに余裕があるので、お子さんを客観的に見ることが出来ます。怒っても、泣いても、一生懸命主張してくれているんだなって、愛おしい。自分の時とは違います。すっかりおばあちゃん目線です。エレベーターの階数を数えるようにしていたら、今では英語で数えられるようになったり、靴を上手に揃えることができるようになったり。教えたことを実践してくれていると、嬉しいです。一人っ子の娘には、たくさんの兄弟姉妹ができました。中学生ですが、私の様子を真似て声掛けし、上手にみしてくれます。一緒にお子さんの安全を確保しようとしてくれ、助かっています。これからも娘と一緒に、援助活動を楽しく続けていきたいです。

### ある日の 援助活動報告書 より

\*娘が帰宅すると、「ねえね、お帰り〜、冷蔵庫に納豆が入ってるヨ」「今日は、からあげだよ」と、木村家の一員の様です。

\*今日もたくさんごはんを食べてくれました。私もほめていますが、拓ちゃんも自分で「たくさん食べておりこう」「何でも食べておりこう」と言いながら。(笑)以前は、ロールキャベツのキャベツをはずしていましたが、今日はそのまま食べてくれました。